

日野市在宅療養体制構築のための基本方針 の進捗状況（令和 3 年度実績）【補足資料】

- ・令和元年～6 年までの 6 年間の計画期間の 3 年目
- ・6 つの施策の方向性と 31 の施策項目（左端数字が各方向性の施策項目の番号）

・施策の方向性 1 「医療機関の特徴や相談窓口の見える化」

概ね達成

- 1 ガイドブック等を活用した啓発活動（包括、図書館等市関係窓口、クリニック薬局等）
- 2 ガイドブック、動画等を活用した周知イベント（看取り経験者と医療介護関係者との動画作成、サロン等での視聴と相談会、図書館での在宅療養コーナー設置 等）
- 4 高齢福祉課とマイエンディングノート作成。七生支所、高幡図書館で在宅療養コーナー設置等

・施策の方向性 2 「患者やその家族の精神的・肉体的な負担軽減体制」

概ね達成

- 1 スーパーバイザーによる事例検討会 年 12 回 延べ 258 人の参加
（事例検討会報告書作成・関係団体での共有、関係者アンケートの実施）
- 2 コロナ対策としてレスパイト病床（精神科病床 1 床）を追加で確保（一般病床 2 床と併せ計 3 床）
コロナ禍でのレスパイト病床活用に関し、市立病院、地域包括支援センター、ケアマネ各代表で意見交換実施

・施策の方向性 3 「患者を中心とした関係機関の意識と情報の共有化」

概ね達成

- 1 医師会との包括協定 協定に基づきコロナ対策、災害医療体制の検討やフレイル予防への対応
医師会をはじめとした在宅療養を推進する各団体代表による検討部会の実施
- 3 MCS（メディカルケアステーション）の導入支援（ケアマネ協議会、在宅介護事業者協議会など）及び活用に向けた取り組み推進（患者グループの試行、オンライン相談、勉強会周知 等）
- 6 事例検討会の実施及び市立病院認定看護師や南多摩保健所と地域の連携支援（オンライン講演会の実施）

・施策の方向性 4 「在宅療養環境のバランスを考慮したコーディネート」

概ね達成

- 1・3 医療と介護の連携に関して、在宅療養支援課が事務局となり、在宅療養コーディネーターとして在宅療養支援課 保健師が対応
- 5 まちの在宅医療相談会 市内在宅医 2 名とコラボ 7 回 19 名参加（年 8 回予定）

・施策の方向性 5 「退院・退所時に安心できる相談支援体制の整備」

概ね達成

- 2 南多摩 5 市在宅療養相談窓口連絡会 MCS グループの開設
- 3 医療と介護の連携に関して、在宅療養支援課が事務局となり、在宅療養コーディネーターとして在宅療養支援課 保健師が対応【再掲】

・施策の方向性 6 「在宅療養の利用状況等のデータ集積に取り組みます」

未達成・未着手

- 2 東京都から KDB データを使用した分析ツールの提供 事務局内で活用検討に着手